



男女共同参画スタディーズ
2023



ジェンダーと私と違和感

社会のいたる所に存在するジェンダー不平等の問題。それは決して他人事ではありません。ふとしたきっかけで現状に対して違和感を覚えている方へ。自分の中のモヤモヤを紐解くヒントを、この連続講座で見つけてみませんか？

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

第1回

6/3(土)

ジェンダーとメディア

問題はどこにある？

メディアのジェンダーイメージをめぐる論争

繰り返される、広報・広告での女性の描かれ方や性的表現をめぐる議論。具体的な事例を通して、その背景にあるジェンダーの構造をとらえます。※講座内でワークショップ有。



堀 あきこさん

関西大学
人権問題研究室
非常勤研究員

専門はジェンダー・セクシュアリティ、メディア文化。論文に「ジェンダー表現と広告・広報—女性差別と『ネット炎上』」(2019、『ひょうご部落解放 特集メディアと人権』)ほか。共編に『BLの教科書』(2020.有斐閣)。

第2回

6/10(土)

ジェンダーと多様な性

多様な性のあり方が

尊重される社会をめざして

勝利至上主義や性別二元制に基づくスポーツの世界における、トランスジェンダーの排除や偏見の問題を通して、性の多様性と人権について考えます。



井谷 聡子さん

関西大学
文学部 准教授

専門はスポーツとジェンダーセクシュアリティ研究。著書に『＜体育会系女子＞のポリティクス—身体』(2021.関西大学出版)ほか。責任編集に雑誌『エトセトラ』7「スポーツとジェンダー」(2021.エトセトラブックス)。

第3回

6/17(土)

家族とジェンダー

96%の女性が結婚で改姓している

モヤモヤと、新しい家族の形

先進国で唯一「夫婦同氏の原則」を民法で定めている日本。いまだに根強く意識が残る家(イエ)制度の影響を踏まえ、これからの時代の結婚のあり方や家族の形を問います。



永田 夏来さん

兵庫教育大学大学院
学校教育研究科 准教授

専門は家族社会学。結婚・妊娠・出産と家族形成について調査研究を行う。著書に『生涯未婚時代』(2017.イースト新書)、共編著『入門家族社会学』(2017.新泉社)。ほか共著多数。

第4回

6/24(土)

ジェンダーに基づく暴力

DVの被害者支援としての

加害者更生プログラムより

女性の約4人に1人は被害を受けたことがあるDV。日本でまだ数か所で行われていない、加害者更生プログラムから、暴力とジェンダーとの関係を見つめます。



伊田 広行さん

非暴力ルーム・大阪
「NOVO」運営者

ジェンダー論、フェミニズム、DVの研究者。立命館大学・大阪経済大学非常勤講師。生活と労働・人権にかかわる様々な支援、相談活動をしながら「NOVO」を運営、各地でデートDV防止教育もしている。著書多数。

時間 各回 10:00～12:00

参加費 無料 ※原則全回参加/ただし1回ごとの参加も可

定員 40人 (予約優先/先着順) 一時保育 無料 10人 (1歳～就学前まで。5/26(金)までに要申込)

申込み
問い合わせ

5月2日(火) 9:00～ 電話、窓口、センターHPで受付

TEL 0797-86-4006

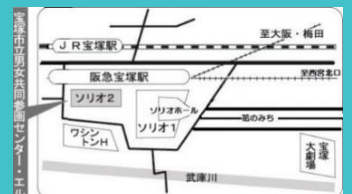
主催：場所 宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

https://www.takarazuka-ell.jp/ 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階



ホームページ



※申込みにあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。